

わらべどんぐり祭の取組み開始

わらどん

平成25年5月31日
発行責任者
早川北小学校
校長 一瀬純司



奈良田のみなさんにお話しをしていただきました

児童が自分たちで作る民話劇に取り組んで四十一年目、話し合いの結果、今年は奈良田の民話を演劇化しようと決まり、五月八日、全校児童



る民話や奈良田の風習について貴重なお話を聞くことができました。本

児童はその後何回か話し合いを重ね、『二羽ガラス』の公演に向けて台本づくりの段階まで進んでいます。十月十二日(土)わらべどんぐり祭をどうかお楽しみ。

遠足に行っても楽しかった

科学館・ごまもの国で楽しみました

五月二十四日(金)、前日の天気がつそのように晴れ上がる中、町のバス『たからくじ号』で甲府の愛宕山にある県立科学館とごまもの国に行ってきました。科学館では、驚くほどたくさんの星が見える最新式プラネタリウムを見せてもらったり、マイナス十九度の低温室や、人が入れる大きなシャボン玉など、科学に関するいろいろなコーナー



で半日楽しみ、木陰でおいしいお弁当を食べました。午後からは山の斜面に並びたくさんのお遊具を使ってたっぷりたっぴり遊ぶことができました。例えば二年生では科学館の「ごまもの国の「フランコヤアスレチック」が楽しかったバスター3に挙げられています。

北小会議

全校児童がたくさん発言します

本校では、児童総会以外に毎月定例の会議「北小会議」を行っています。大きな学校で言えば児童会の代表委員会にあたる会議で中高学年生、それもクラス一人か二人しか出られないのですが、本校は極小規模校の強みを生かして一年生から六年生まで全校児童が参加します。しかも、一・二年生は聞いているだけかと言えども、たくさん発言することはなく、全員がしっかりと、前を向いて発言します。



発言に対する意欲もすばらしく、発言したい児童は学年名の書かれた札をすばやく上げながら「議長っ」と大きな声でアピールします。機会があればぜひご覧いただきました。

考えを伝え合おう

児童は授業中など、聞かれたことに単語で答えて済んでしまいがち…。でも休み時間などは多くの言葉を駆使して会話をはずませています。授業においても自分の考えをきちんと伝え合つことができよう今年度重点的に取り組んでいきます。

